

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	シルバー人材センター補助事業				基本目標	生きがいがづくり支援			
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学		事業開始年度		年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	高齢者			生きがいをもち生活できる					
事業の内容	高齢者の働く場を確保・提供している高鍋町シルバー人材センターへ活動費の助成を行う。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	2,150 千円		2,150 千円		2,150 千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円
		歳出	補助金					地方債	千円
							その他	千円	
							一般財源	2,150 千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	シルバー人材センター補助金			
	補助対象	高鍋町シルバー人材センター			補助金要綱	有			
	前年度決算	補助額	2,150 千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	2,150 千円 終期 26	
		交付団体の決算額	130,461 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	2 %		<small>◎補助金が減額となった場合に運営できないかどうかは判断としないが、少々の減額は可能と思われる。(H23)</small> <small>◎今後法人組織として運営方針を転換し、その時点で事業事業評価対象外とするべきである。(H23)</small> <small>◎法人化するまでは現行通りでのないか。(H23)</small> <small>◎各年度によりセンターの経営状態が左右されるため運営費補助として必要である。(H23)</small>					
	繰越額	184 千円							

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
働く場の確保			働く場の提供			能力発揮による生きがいがづくり		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
会員数	200	人	就業延人員数	36000	人	受注件数	1800	件
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
就業機会の拡大(公共)	件	就業機会の拡大(民間)	件	配分金の増強	円			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			実績値	24年度	25年度		目標値	
成果指標	会員数	人	実績値	147	142	目標値	年度末の会員数	
			達成率	73.5%	71.0%	達成率		75.0%
	就業延人員数	人	実績値	21,138	21,339	目標値		22,500
			達成率	58.7%	59.3%	達成率		
	受注件数	件	実績値	1,241	1,280	目標値		1,350
			達成率	68.9%	71.1%	達成率		
活動指標	就業機会の拡大(公共)	件	実績値	78	94	目標値	100	
			目標値	-	78			
	就業機会の拡大(民間)	件	実績値	1,163	1,186	目標値	1,250	
			目標値	-	1,163			
	配分金の増強	円	実績値	98,252,085	103,385,675	目標値	100,000,000	
			目標値	100,000,000	100,000,000			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	団塊世代の高齢化により高齢社会が益々進む中、年金給付年齢の引上げや少子化による生産年齢世代の減少により、高齢者の技能活用や労働力が必要とされるとともに、高齢者の働く場、能力を生かす場、生きがいある生活など住民ニーズが高まっている。また、働けることが高齢者の健康増進にも繋がっている。益々進む高齢社会に対応するには、シルバー人材センターの役割がより重要となるため拡充が必要である。	今後の方向性
	有効性	5	公益性	5		拡充

事務事業評価委員会評価欄	・人件費分の増額は、その効果と現在のパート職員分を含め要検討。 ・高齢者世代の働く場の確保やいきがづくりの社会的ニーズは年々増えていると感じる。 今後、現役世代が減少していく中で働ける高齢者の力が必要になる。	外部評価委員会評価判定欄
拡充		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	各種団体補助事業(保護司会)				基本目標	地域福祉活動の推進				
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学		事業開始年度	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	触法者			自立した地域生活を送れる						
事業の内容	犯罪や非行をした人等の立ち直りを地域で支える保護司会の研修、犯罪予防活動、関係機関との連絡調整、広報活動などの組織的な活動を支援するため助成を行う。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	160千円		157千円		160千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	補助金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	160千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	児湯地区保護司会高鍋支部補助金				
	補助対象	児湯地区保護司会高鍋支部			補助金要綱	有				
	前年度決算	補助額	157千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	160千円	終期	28
	決算額に占める割合	202千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等						
	繰越額	32千円		<small>※H24にH25県外研修のための多額積立 ◎研修活動等への向からの支援策を検討する必要がある。(H25) ◎保護司の活動について、費用面での国からの支援が望めないのであれば研修費用等の支援の拡充が必要と考える。ただし、町として増額するための明確な理由付けが必要。(H25)</small>						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
犯罪予防	識見向上							
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
広報・啓発活動	6	回	研修会の参加	6	回			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
社明運動・その他啓発活動等	回	高鍋東小中学校区情報交換会	回	研修会の参加	回			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項			
			24年度	25年度	26年度				
成果指標	広報・啓発活動	回	実績値	5	6	目標値	6	社明運動、早朝広報、情報交換会	
			達成率	83.3%	100.0%	達成率	100.0%		
	研修会の参加	回	実績値	6	6	目標値	6		性犯罪者、再犯防止、薬物乱用等
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%		
活動指標	社明運動・その他啓発活動等	回	実績値	4	7	目標値	7	社明運動の取組み4回 早朝広報3回	
			目標値	5	5				
	高鍋東小中学校区情報交換会	回	実績値	1	1	目標値	1		
			目標値	1	1				
	研修会の参加	回	実績値	6	6	目標値	6		
			目標値	6	6				

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	保護司活動は、触法者の更生、地域生活への定着支援や社会復帰に繋ぐ重要な役割を担っている。安心・安全なまちづくりに不可欠なものであり公益性が高い。多様化・複雑化した問題に対応するには更なる識見向上が必要のため拡充が必要である。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	5		拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年の研修費の増額要求だが、前年に積み立てている実績があることからそのことも考慮し、現段階では維持。国にも支援要望を。 ・識見向上のため1年に1回研修実施したい ・町独自の事業を創設するなどして支援してはどうか ・保護司の活動は継続的に支援していく必要がある。 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	各種団体補助事業(民生委員児童委員協議会)		基本目標	地域福祉活動の推進						
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学		事業開始年度	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どのような状態にしたいのか)							
	地域社会		地域福祉活動が充実する							
事業の内容	地域住民の相談窓口として様々な事案に対応する民生委員・児童委員の個別活動、連携強化や識見向上の取組みを支援するため、民生委員児童委員協議会に対し助成を行う。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	4,036 千円		4,036 千円		4,814 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入	県負担金					地方債	千円	
		歳出	補助金、消耗品費、借上料					その他	千円	
							一般財源	1,803 千円		
補助事業	事業の区分	国県による補助事業			補助事業名	民生委員児童委員協議会補助金				
	補助対象	高鍋町民生委員児童委員協議会			補助金要綱	有				
	前年度決算	補助額	4,036 千円		補助の形態	国県補助	H26年度補助額	4,612 千円	終期	28年度中
		交付団体の決算額	4,086 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
決算額に占める割合	98.8 %		<small>◎ 民生委員のなり手を探すのも困難な中これ以上の経費節減は難しいと考える。(H23) ※経費書@査定の場合に協議済 ※評価対象として馴染まないという意見有。次回見直し時に要検討</small>							
繰越額	28 千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
地域福祉ニーズの把握			地域住民からの相談及び支援			識見向上		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
調査・実態把握件数	3,400	件	相談・支援件数	2,800	件	研修会等回数	35	回
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
活動延日数	日	訪問延回数	回	研修会等参加延人数	人			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			実績値	24年度	25年度		目標値
成果指標	調査・実態把握件数	件	実績値	3,414	3,353	目標値	3,400
			達成率	100.4%	98.6%	達成率	100.0%
	相談・支援件数	件	実績値	2,817	2,737	目標値	2,800
達成率			100.6%	97.8%	達成率	100.0%	
研修会等回数	回	実績値	32	37	目標値	35	
		達成率	91.4%	105.7%	達成率	100.0%	
活動指標	活動延日数	日	実績値	6,496	6,423	目標値	6,500
			目標値	6,500	6,500		
	訪問延回数	回	実績値	6,967	5,951	目標値	6,000
			目標値	6,000	6,000		
研修会等参加延人数	人	実績値	769	837	目標値	850	
		目標値	850	850			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	地域における民生委員児童委員の役割は大きなものがある。更に国も今後、生活困窮者対策において民生委員がその役割を最大限発揮できるよう環境整備を進め、研修会等や各種機関との連携を強化することとしている。町行政では対応できないきめ細やかな地域福祉ニーズに対応しており、非常に公益性が高い。報酬ではなく活動費への補助であり、県内他市町村との比較では補助額は低	今後の方向性
	有効性	5	公益性	5		拡充

事務事業評価委員会評価欄	・26年度に増額している。当面はそのまま。 ・他の町が増加したからといって、単純に増加とは言えない	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	社会福祉協議会運営補助事業				基本目標	地域福祉活動の推進				
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学		事業開始年度	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	高鍋町			地域福祉が向上する						
事業の内容	社会福祉協議会の運営・活動に対する助成を行う。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	6,802 千円		6,802 千円		6,802 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	補助金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	6,802 千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	高鍋町社会福祉協議会補助金				
	補助対象	社会福祉協議会			補助金要綱	有				
	前年度決算	補助額	6,802 千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	6,802 千円	終期	28
		交付団体の決算額	8,304 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
決算額に占める割合	82 %		※普通交付税措置(単位費用) ◎地域福祉の実践からも更なる充実が必要。(H25) ◎協議会内部の(デイ等)の事業収益の減少もあり、利益の無い事業が増えている現状もあるので、補助については維持が妥当ではないかと思う。(H25)							
繰越額	0 千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
円滑な事業運営			福祉のまちづくり			社会資源の確保		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
職員数	50	人	実施事業(相談支援)	5	事業	実施事業(福祉全般)	20	事業
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
有資格者の雇用	人	独自事業の実施	事業	福祉関係団体の支援	件			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項			
			24年度	25年度	26年度				
成果指標	職員数	人	実績値	47	50	目標値	50	正規職員15名、嘱託職員11名、パート職員24名	
			達成率	94.0%	100.0%	達成率			100.0%
	実施事業(相談支援)	事業	実績値	4	5	目標値	5		高齢者等相談支援、地域包括支援センター、居宅介護支援、特定相談支援、基幹相談支援センター(新規)
			達成率	80.0%	100.0%	達成率			
実施事業(福祉全般)	事業	実績値	18	19	目標値	20	新規事業 お墓見守りクリーンサービス		
		達成率	90.0%	95.0%	達成率			100.0%	
活動指標	有資格者の雇用	人	実績値	17	17	目標値		20	介護支援専門員4、介護福祉士2、保健師1、准看護師3、社会福祉士2、精神保健福祉士1、相談支援専門員2、保育士1、栄養士1 お墓見守り、社協だより、地区の底力、福祉機器貸出、たすけあい資金、災害給付見舞金、ボランティアセンター、募金事業、安心サポート、戦没者慰霊祭 母子寡婦団体、身障福祉会、視覚障害者福祉会、聴覚障害者団体、老人クラブ、民生委員児童委員協議会
			目標値	—	—				
	独自事業の実施	事業	実績値	9	10	目標値	10		
			目標値	9	10			—	
	福祉関係団体の支援	件	実績値	6	6	目標値	6		
			目標値	6	6			—	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	地域における問題やニーズが多様化・複雑化しており、その課題解決に取り組む社会福祉協議会の役割はより重要なものになっているが、比例して負担も非常に大きくなっている。更には生活困窮者自立支援制度が27年度から本格的に実施となるので、地域福祉活動の推進により一層の支援が必要となる。	今後の方向性 拡充
	有効性	5	公益性	5		

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の充実のため事業は拡充は必要だと考えるが、金額の増額は、実施事業の内容により検討する必要がある。 ・自助努力の検討。 	外部評価委員会評価判定欄
維持	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の在り様を整理していかないと、今後の方向性も明らかにできない。補助金の増減だけが協議されることになりかねない。 ・社会福祉協議会本来の活動ができていない ・社会福祉協議会のあり方をどうするのが優先 ・社会福祉協議会にしかできない事業とは？ 	

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	保育園地域活動事業				基本目標	子育て支援サービスの充実			
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	瀬川芳一		事業開始年度	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	保育園入所児童			健全に育つようにする					
事業の内容	児童の健全な育成を図るため、地域の高齢者や小中学生との世代間交流を促進する。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	200千円		600千円		480千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円
		歳出	補助金					地方債	千円
							その他	千円	
							一般財源	480千円	
補助事業	事業の区分	町単独による補助事業			補助事業名	地域活動事業補助金			
	補助対象	町内私立保育園			補助金要綱				
	前年度決算	補助額	600千円	補助の形態	奨励的補助	H26年度補助額	480千円	終期	26
	決算額に占める割合	77%		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	繰越額	0千円		<small>事業拡充(コスト拡充)(H23) ※H24から国補助が無くなった。 ◎未実施保育園への周知をして、町内私立保育園全てで実施してどうか。(H23) ◎現在の2園以外にも事業拡充を図ることは結構であるが、拡充した場合に県補助金の対象となれるか(事業箇所数、事業費など)確認しておくこと。(H23)</small>					

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
児童の健全な育成を図る								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
実施園数	6	園	事業参加延人数	1200	人	延実施回数	60	回
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
補助金交付	円							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	実施園数	園	実績値	2	6	目標値	6
			達成率	33.3%	100.0%	達成率	100.0%
	事業参加延人数	人	実績値	332	887	目標値	1200
			達成率	27.7%	73.9%	達成率	100.0%
	延実施回数	回	実績値	22	25	目標値	60
			達成率	36.7%	41.7%	達成率	100.0%
活動指標	補助金交付	円	実績値	200,000	600,000	目標値	600,000
			目標値	300,000	600,000		
				実績値		目標値	
				目標値			
				実績値		目標値	
				目標値			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	4	1施設8万円の補助であるが、世代間・異年齢児との交流が図られることで児童の健全な育成に寄与している。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		維持

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値に達するよう指導すること。 ・子育て支援の推進上必要。 ・高齢者と子供たちのふれあい交流など、各樹ていくことは高齢者対策の面からも有効と思われる。 ・高齢者の生きがいにもつながるため継続して実施すべきと考える。 ・園児、高齢者等お互いにとって有効な事業である。 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	延長保育事業				基本目標	子育て中の家庭への支援体制の整備					
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	瀬川芳一		事業開始年度	H13	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)							
	児童			必要な保育を受けられるようにする							
事業の内容	通常の保育業務の時間外に保育サービスを提供する										
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳			
	金額	24,565 千円		24,645 千円		24,645	千円	国庫支出金	千円		
	主な予算科目	歳入	県補助金				地方債			千円	
		歳出	補助金				その他			千円	
補助事業	事業の区分	国県補助			補助事業名	延長保育事業補助金					
	補助対象	町内に所在する私立保育所			補助金要綱	高鍋町私立保育所延長保育事業費補助金交付要					
	前年度決算	補助額	24,645	千円	補助の形態	国県補助	H26年度補助額	24,645	千円	終期	26
	決算額に占める割合	29,853		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等						
繰越額	0		千円	<small>◎子育て支援の立場から、継続すべき事業である。(H23)</small> <small>◎利用者からの要望もあり、必要性の高い事業と考えるが、これ以上の拡充は難しいと考える。(H23)</small> <small>H25 6号補正で△3,025千円減額</small>							

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
就労と育児の推進			安心して子育てができる環境の充実					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
町内実施園数	7	園	延長保育利用児童数	—	人			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
事業担当保育士の配置 (一園につき)	人							

◎目標達成状況

	指標名	単位				これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	町内実施園数	園	実績値	7	7	目標値	7
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%
	延長保育利用児童数	人	実績値	167	181	目標値	—
			達成率			達成率	
活動指標	事業担当保育士の配置 (一園につき)	人	実績値	2	2	目標値	2
			目標値	2	2	目標値	2
			実績値			目標値	
			目標値			目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	3	保護者の需要に応じた施設体制が整備されており、就労と育児の両立支援を推進している。 安心して子育てができる環境の整備が図られている。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		維持

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者があり、また、国県の補助事業でもあるので継続すべき事業である。 ・子育て支援の推進上必要。 ・就労と子育ての両立のためには必要 事業の成果が分かりにくい。指標の見直しが必要ではないか	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	一時保育促進事業				基本目標	子育て中の家庭への支援体制の整備				
担当課(局)・係	健康推進課	子育て支援係	記入者	瀬川芳一		事業開始年度	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	就学前の児童			必要な保育が受けられるようにする						
事業の内容	保護者の社会的事由による一時的な保育不能状態に対し、一時的に児童を保育園に入園させる									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	3,600千円		2,700千円		4,500千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入	県補助金					地方債	千円	
		歳出	補助金					その他	千円	一般財源
補助事業	事業の区分	国県補助			補助事業名	一時預かり事業補助金				
	補助対象	町内に所在する私立保育所			補助金要綱	高鍋町私立保育所一時預かり事業実施要綱				
	前年度決算	補助額	2,700千円		補助の形態	国県補助	H26年度補助額	4,500千円	終期	26
		交付団体の決算額	11,839千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
決算額に占める割合	23%		◎利用者がおり、子育て支援の立場からも、継続すべき事業である。(H23)							
繰越額	0千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
保護者の負担軽減			支援体制の整備					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
町内実施園数	7	園						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
事業担当保育士の配置(一園あたり)	人							

◎目標達成状況

	指標名	単位	年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	町内実施園数	園	実績値	7	7	目標値	7
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%
			実績値			目標値	
			達成率			達成率	
活動指標	事業担当保育士の配置(一園あたり)	人	実績値	2	2	目標値	2
			目標値	2	2	目標値	2
			実績値			目標値	
			目標値			目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	3	保護者の需要に応じた施設体制が整備されており、就労と育児の両立支援を推進している。 安心して子育てができる環境の整備が図られている。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		維持

事務事業評価委員会評価欄	・利用者がおり、また、国県の補助事業でもあるので継続すべき事業である。 ・子育て支援の推進上必要。 ・子ども子育て支援事業の必須事業 ・就労と子育ての両立のためには必要 事業の成果が分かりにくい。指標の見直しが必要ではないか	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	休日保育事業				基本目標	子育て中の家庭への支援体制の整備				
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	瀬川芳一		事業開始年度	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	就学前の児童			必要な保育を受けられるようにする						
事業の内容	日曜日、祝日等に勤務等により保育できない保護者に代わり私立の認可保育所にて保育を行う。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	2,025 千円		1,337 千円		1,337 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入	県補助金			地方債		千円		
		歳出	補助金			その他		千円		
補助事業	事業の区分	国県補助			補助事業名	休日保育事業補助金				
	補助対象	社会福祉法人 石井記念友愛社 明倫保育園			補助金要綱					
	前年度決算	補助額	1,337 千円		補助の形態	国県補助	H26年度補助額	1,337 千円	終期	26
	決算額に占める割合	81 %		◎利用者がおり、子育て支援の立場からも、継続すべき事業である。(H23) H25 6号補正で2千円増額						
	繰越額	0 千円								

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
保護者の負担軽減			支援体制の整備					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
町内実施園数	1	園	休日保育利用児童数	—	人			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
事業担当保育士の配置	人							

◎目標達成状況

	指標名	単位				これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	町内実施園数	園	実績値	1	1	目標値	1
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%
	休日保育利用児童数	人	実績値	9	7	目標値	—
			達成率			達成率	
活動指標	事業担当保育士の配置	人	実績値	2	2	目標値	2
			目標値	2	2	目標値	2
			実績値			目標値	
			目標値			目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	3	保護者の需要に応じた施設体制が整備されており、就労と育児の両立支援を推進している。 安心して子育てができる環境の整備が図られている。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		維持

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がおり、また、国県の補助事業でもあるので継続すべき事業である。 ・子育て支援の推進上必要。 ・就労と子育ての両立のためには必要 事業の成果が分かりにくい。指標の見直しが必要ではないか	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	児童館助成事業				基本目標	子育て中の家庭への支援体制の整備			
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	瀬川芳一		事業開始年度	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	町内の乳幼児から高校生			健康増進と情操が豊かになる					
事業の内容	児童の遊び、交流の場である児童館に対し助成を行う。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	10,058 千円		9,325 千円		8,393 千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円
		歳出	補助金					地方債	千円
							その他	千円	
							一般財源	8,393 千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	児童館助成事業補助金			
	補助対象	社会福祉法人あけぼの会 なでしこ児童館			補助金要綱				
	前年度決算	補助額	9,325 千円	補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	8,393 千円	終期	26
	決算額に占める割合	59 %		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	繰越額	0 千円		<small>事業維持・コスト削減(H25) ※外部評価 維持(H25)</small> <small>◎利用者がおり、子育て支援の立場からも、継続すべき事業である。(H23)</small> <small>※H24.2号補正より県補助が0、一般財源733千円増額。</small> <small>◎他団体の事例も参考にコスト削減の方策検討が必要。(H25)</small>					

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
保護者の負担軽減			支援体制の整備					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
実施施設数	1	箇所	利用児童生徒数	28000	人			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位		活動指標名	単位		活動指標名	単位	
職員の配置状況 (一箇所あたり)	人							

◎目標達成状況

	指標名	単位				これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	実施施設数	箇所	実績値	1	1	目標値 1	
			達成率	100.0%	100.0%	達成率 100.0%	
	利用児童生徒数	人	実績値	27323	25549	目標値 28000	
			達成率	97.6%	91.2%	達成率 100.0%	
			実績値		目標値		
			達成率		達成率		
活動指標	職員の配置状況 (一箇所あたり)	人	実績値	6	6	目標値 6	
			目標値	1	1	目標値 6	
				実績値		目標値	
				目標値		目標値	
			実績値		目標値		
			目標値		目標値		

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	3	共働き家庭における子育てサポート事業として大きい役割を果たしている。 緊急時に預けることもできるので、一時利用時等の利便性がある。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		維持

事務事業評価委員会評価欄	・子育て支援の推進上必要。 ・就労していない保護者のためにも児童館が必要 ・放課後児童クラブとの棲み分けはあるが、利用者負担について検討が必要。 ・他団体との整合性を検討	外部評価委員会評価判定欄
縮小		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	乳幼児医療費助成事業				基本目標	子育て中の家庭への支援体制の整備			
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	瀬川芳一		事業開始年度	S49	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	乳幼児			必要な医療を受けられる					
事業の内容	高鍋町に住所を有する乳幼児に係る医療費の一部を助成する。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	35,050 千円		32,936 千円		36,810 千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入	県補助金					地方債	千円
		歳出	扶助費					その他	千円
							一般財源	19,143 千円	
補助事業	事業の区分				補助事業名				
	補助対象				補助金要綱				
	前年度決算	補助額			千円	補助の形態	H26年度補助額	千円	終期
		交付団体の決算額			千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
	決算額に占める割合	#VALUE!		%					
	繰越額			千円					

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
乳幼児の健全な発育の促進			乳幼児の受診が容易にできる環境			乳幼児医療費の負担軽減		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
町負担金額	19,143,000	円	県補助金額	17,667,000	円	受給者数	1,400	人
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
助成件数(現物給付)	人	助成件数(申請払い)	人	高額医療費戻入件数	件			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	町負担金額	円	実績値	18,250,717	14,772,941	目標値	19,143,000
			達成率	95.3%	77.2%	達成率	100.0%
	県補助金額	円	実績値	15,163,000	16,566,000	目標値	17,667,000
			達成率	85.8%	93.8%	達成率	100.0%
	受給者数	人	実績値	1,329	1,379	目標値	1,400
			達成率	94.9%	98.5%	達成率	100.0%
活動指標	助成件数(現物給付)	人	実績値	18,715	17,302	目標値	19,800
			目標値		18,500		
	助成件数(申請払い)	人	実績値	81	210	目標値	330
			目標値		80		
	高額医療費戻入件数	件	実績値	15	15	目標値	
			目標値				

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	3	子育ての負担軽減に大きく貢献している。少子化対策の一環としての成果は高い。県内の事業状況を鑑みると、対象年齢の拡充等の検討が必要である。	今後の方向性
	有効性	4				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村間の競争になっている感がある。国の施策で行うべきもの。 ・助成内容の検討が必要。 ・近隣市町村の状況から拡充要望が高いが、拡充の方策はどのようなものが考えられるか検討を十分に行う必要がある。 ・町長が拡充する方向(町独自のやり方) ・近隣自治体と比較した場合に対象年齢拡充などの課題はあるが、扶助費の増大といった側面もあるため様々な点において検証をしてもらいたい 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	緊急通報システム事業				基本目標	地域支援体制の充実			
担当課(局)・係	健康福祉課	介護・高齢者福祉係	記入者	濱本 生代		事業開始年度	H19	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)				
	高齢者や障がい者等				精神的不安なく安全に生活できる				
事業の内容	おおむね65歳以上の高齢者のみの世帯で慢性疾患等により常時注意を必要とする方や身体障がい者のみの世帯で日常生活に不安のある方の安全の確保と精神的不安を解消するために緊急通報装置を貸与し、利用者の世帯の状況に応じた利用料を負担する。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	340 千円		345 千円		578 千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円
		歳出	委託料					地方債	千円
							その他	千円	
							一般財源	578 千円	
補助事業	事業の区分					補助事業名			
	補助対象					補助金要綱			
	前年度決算	補助額			千円	補助の形態	H26年度補助額		千円 終期
		交付団体の決算額			千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
	決算額に占める割合	#VALUE!		%					
	繰越額			千円					

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
緊急時の迅速な対応			日常生活における不安の解消					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
設置者数	100	人						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位		活動指標名	単位		活動指標名	単位	
事業の広報回数	回							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	設置者数	人	実績値	28	25	目標値	28
			達成率	28.0%	25.0%	達成率	28.0%
				実績値		目標値	
				達成率		達成率	
活動指標	事業の広報回数	回	実績値	1	2	目標値	2
			目標値	1	2		
				実績値		目標値	
				目標値		目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	高齢者のみの世帯で慢性疾患等により常時注意を必要とする方や身体障害者のみの世帯で日常生活に不安のある方は、緊急通報システムを設置することにより、日常生活の不安を解消することができている。 実際に救急車の要請を必要としたケースもあることから、孤立死の防止にもつながり、今後ますますその必要性は高まると考える。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・事業としては継続の必要は認めるが、予算と決算のかい離がみられるので予算的には維持。 ・設置対象者の基準を決めきれない中では、拡充の方針も具体性が無い。 ・孤立死の予防にも役立つ ・まずは対象者条件の明確化が必要であり、その方向性に基づき判断すべきと考える。 ・単身高齢者世帯の増加に伴い今後ニーズは増えると思われる 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	高齢者クラブ連合会補助事業				基本目標	生きがいがづくり支援				
担当課(局)・係	健康福祉課	介護・高齢者福祉係	記入者	濱本生代		事業開始年度	S47	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	高齢者			生きがいを持って生活できる						
事業の内容	地域ごとに結成されている単位高齢者クラブの活動の活性化を図るため、高齢者クラブ連合会に活動費を補助する									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	398 千円		398 千円		398 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入	社会福祉費補助金				地方債			千円
		歳出	負担金補助及び交付金				その他			千円
							一般財源	133 千円		
補助事業	事業の区分	国県補助			補助事業名	高齢者クラブ連合会補助金				
	補助対象	高鍋町高齢者クラブ連合会			補助金要綱	老人等在宅福祉事業費補助金				
	前年度決算	補助額	398 千円		補助の形態	国県補助	H26年度補助額	398 千円	終期	26
	決算	交付団体の決算額	0 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	#DIV/0!		%	※高齢者クラブ補助金と同じ ※高齢者クラブから各5千円負担金貰っている場合の対応を考える必要有					
	繰越額	0 千円								

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
高齢者クラブの活性化								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
高齢者クラブ加入団体数	28	団体	高齢者クラブ連合会加入者数	1,200	人	連合会活動参加者数		人
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
連合会活動回数	回	連合会活動回数(主催行事)	回					

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	高齢者クラブ加入団体数	団体	実績値	18	18	目標値	19
			達成率	64.3%	64.3%	達成率	67.9%
	高齢者クラブ連合会加入者数	人	実績値	971	964	目標値	1,000
			達成率	80.9%	80.3%	達成率	83.3%
連合会活動参加者数	人	実績値	285	280	目標値	350	
		達成率			達成率		
活動指標	連合会活動回数	回	実績値	15	12	目標値	12
			目標値	12	18		
	連合会活動回数(主催行事)	回	実績値	5	5	目標値	5
			目標値	5	5		
			実績値			目標値	
			目標値				

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	3	地域ごとに組織された高齢者クラブ相互の交流や、活動に関する情報交換等、地域クラブの活性化推進のために必要な組織である。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		維持

事務事業評価委員会評価欄	・現段階では継続すべき事業と考えるが、将来町からの助成金なしで運営できる自立した団体になるとことを期待する。 ・高齢者対策として、内容の充実が必要。 ・組織の維持存続について検討が必要	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	高齢者クラブ補助事業				基本目標	生きがいがづくり支援				
担当課(局)・係	健康福祉課	介護・高齢者福祉係	記入者	濱本 生代		事業開始年度	S47	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)					
	高齢者				生きがいを持って生活できる					
事業の内容	高齢者の生きがいがづくりや社会参加を推進するために、地域ごとに組織されている単位クラブに対して活動費を補助する									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	846 千円		840 千円		1,044 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入	高齢者クラブ活動等社会活動促進事業補助金				地方債	千円		
		歳出	負担金補助及び交付金				その他	千円		
						一般財源	348 千円			
補助事業	事業の区分	国県補助			補助事業名	高齢者クラブ補助金				
	補助対象	高鍋町高齢者クラブ連合会			補助金要綱	老人等在宅福祉事業費補助金				
	前年度決算	補助額	840 千円		補助の形態	国県補助	H26年度補助額	1,044 千円	終期	26
		交付団体の決算額	0 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	#DIV/0!	%	<small>◎高齢者の生きがいがづくりにおいて、子供とのふれあいに、お年寄りを大切にすることを精神等としてほしい。(H23)</small> <small>◎高齢者クラブの存続が危ぶまれる状況にあるらしいので、社会教育課と連携して生涯学習、公民館活動の一環として対策を講じる必要があるのではないか。(H23)</small> <small>※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。</small>						
	繰越額	0 千円								

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
高齢者の社会参加の推進			高齢者の生きがいがづくり			高齢者のひきこもり防止		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
単位クラブ数	30	団体	高齢者クラブ加入者数	1,300	人	地域活動参加者数	520	人
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
地域活動回数	回							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	単位クラブ数	団体	実績値	19	19	目標値	24
			達成率	63.3%	63.3%	達成率	80.0%
	高齢者クラブ加入者数	人	実績値	1,032	1,025	目標値	1,050
			達成率	79.4%	78.8%	達成率	80.8%
	地域活動参加者数	人	実績値	276	290	目標値	310
			達成率	53.1%	55.8%	達成率	59.6%
活動指標	地域活動回数	回	実績値	290	228	目標値	228
			目標値	228	228		
				実績値		目標値	
				目標値		目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	3	高齢になるにつれて社会参加の場や機会が限られてくることから、地域のクラブに所属することにより社会的な役割を担うことができ、生きがいがづくりにつながる。 地域での日常的な声掛けにより、引きこもりの防止や見守りといった効果も期待される。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		維持

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階では継続すべき事業と考えるが、将来町からの助成金なしで運営できる自立した団体になることを期待する。 ・高齢者対策として、内容の充実が必要。 ・働く人も多くなった高齢者の年齢構成も高くなり、結成はもとよりクラブそのものの維持が精いっぱい状況は致し方ないのか。 ・組織の維持存続について検討が必要 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	高齢者住宅改造助成事業				基本目標	介護福祉サービスの充実					
担当課(局)・係	健康福祉課	介護・高齢者福祉係	記入者	濱本 生代			事業開始年度	H12	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)						
	要介護の高齢者				自立した生活を維持できる						
事業の内容	介護の必要な高齢者の自立した生活の促進及び介護者の負担軽減を図るため、住宅改造に要する経費の一部を世帯の状況に応じて補助する										
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳			
	金額	450千円		50千円		500千円		国庫支出金	千円		
	主な予算科目	歳入	社会福祉費補助金				地方債	千円			
		歳出	負担金補助及び交付金				その他	千円			
						一般財源	250千円				
補助事業	事業の区分	国県補助			補助事業名	高齢者住宅改造助成事業補助金					
	補助対象	在宅の要介護高齢者			補助金要綱	高鍋町高齢者住宅改造助成事業実施要項					
	前年度決算	補助額	50千円		補助の形態	国県補助	H26年度補助額	500千円		終期	26
		交付団体の決算額	284千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等						
		決算額に占める割合	18%		※24年度予算、自主的見直し						
	繰越額	0千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
高齢者の自立した生活の維持及び促進			介護者の負担軽減					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
助成対象者数	2	人	助成金額	1,000,000	円			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位		活動指標名	単位		活動指標名	単位	
住宅改修費支給申請者数	人							

◎目標達成状況

	指標名	単位	24年度			25年度		26年度		これまでの活動状況・特記事項
			実績値	24年度	25年度	目標値	26年度	達成率	26年度	
成果指標	助成対象者数	人	実績値	1	1	目標値	1			
			達成率	50.0%	50.0%	達成率	50.0%			
	助成金額	円	実績値	450,000	50,100	目標値	500,000			
			達成率	45.0%	5.0%	達成率	50.0%			
活動指標	住宅改修費支給申請者数	人	実績値	59	93	目標値	100	介護保険の住宅改修費の支給を優先する。		
			目標値							
			実績値			目標値				
			目標値							
			実績値			目標値				
			目標値							

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	4	介護保険サービスの住宅改修(20万円)を超えて改修が必要な場合を対象としており、高齢者等が住み慣れた地域で自立した生活を送るためには必要な事業である。 対象者の住宅改修に対する補助であるため直接的には公益性は低いものの、在宅での生活により、大きな額ではないものの、介護給付費を抑えられている。	今後の方向性
	有効性	5	公益性	2		維持

事務事業評価委員会評価欄	・県の補助があり、所得に応じた助成なので継続すべき事業と考える。	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	プール運営事業				基本目標	健康づくりの推進			
担当課(局)・係	健康福祉課	健康推進係	記入者	上杉悦子		事業開始年度	16	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	町民			心身ともに健康に生活できる					
事業の内容	①プールの安全な管理運営を行う。②水中運動普及員の研修会を行い、プール運動効果についての普及活動につなげる。委託先や普及員と連携し、無料開放イベントの開催や各種教室の充実を図り、継続利用へつなげる。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	30,505 千円		28,912 千円		29,272 千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入	雑入					地方債	千円
		歳出	報償費、需用費(消耗品費・燃料費・光熱水費)、役務費(手数料)、修繕料(物・営)、委託料					その他	8,244 千円
							一般財源	21,028 千円	
補助事業	事業の区分				補助事業名				
	補助対象				補助金要綱				
	前年度決算	補助額		千円	補助の形態	H26年度補助額	千円	終期	
		交付団体の決算額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	#VALUE!	%						
	繰越額		千円						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
健康の維持・増進			利用者数の増加					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
利用者数(延)	36,000	人	利用者数(実)	490	人	心身の健康状態の改善	100	%
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
無料開放プールイベント	回	水中運動普及員研修	回	事故件数	件			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			実績値	24年度	25年度		目標値	
成果指標	利用者数(延)	人	実績値	29,442	33,488	目標値	35,000	
			達成率	81.7%	93.0%	達成率	97.2%	
	利用者数(実)	人	実績値		450	目標値	470	
達成率					達成率	93.9%		
活動指標	<アンケート調査結果> 心身の健康状態の改善率	%	実績値		92.7	目標値	95	フリーパス券利用者41人を対象。<結果(延)>仲間ができた21人、腰痛・膝痛が軽減15人、体重減少15人、快眠15人、ストレス解消12人、肩こりの改善8人、受診回数が減った4人、血圧が上がった5人、血糖値が下がった1人 等
			達成率	0.0%	92.7%	達成率	95.0%	
	無料開放プールイベント	回	実績値	1	1	目標値	1	
			目標値	1	1	目標値	1	
水中運動普及員研修	回	実績値	5	6	目標値	6		
		目標値	6	6	目標値	6		
事故件数	件	実績値	0	0	目標値	0		
		目標値	0	0	目標値	0		

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	3	町民の健康づくりや児童のスイミング教室などの利用者増が続き25年度は3万人を突破し開設依頼最高の利用者を記録した。今後高齢社会の進展に伴い、介護予防教室等の事業の展開が見込まれる。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 施設を最大限活用した事業を展開する必要あり。 独自事業が利用者の増加・継続に繋がっている 実施事業について積極的な拡充を図り利用者増と利用者の健康増進につなげる必要がある 	外部評価委員会評価判定欄
拡充		